国際航空運送協会(IATA)の概要

(IATA: International Air Transport Association)

1. 設立

世界で初めて国際航空サービスが開始された 1919 年にオランダのハーグに現在のIATAの前身にあたる International Air Traffic Associationが設立された。その後、航空安全の促進や利用者利便の向上のため、1945年4月にキューバのハバナに航空会社が加盟する国際的な業界団体として現在のIATAが設立された。

2. 目的

各関係機関に対して航空産業の発展、航空安全の促進、環境問題への対策等の政策提言を行うことを目的としている。また、国際航空の需要及び動向等、全世界規模の調査を行っている。

3. 本部

ジュネーブ(スイス)及びモントリオール(カナダ)

4. 加盟航空会社数

230 社(126 ヶ国) ※ 設立時 57 社(31 ヶ国)

5. 我が国における加盟航空会社(三社)

全日本空輸 【ANA】

- 日本航空 【JAL】

· 日本貨物航空 【NCA】